

平成23年度 地域自主戦略交付金に係る事業評価表

(団体名: 沖縄県)

成果目標 No	成果目標 (H23設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上の No)	成果指標	単位	目標値 (基準値) ※「達成年度」もしくは、「中間評価年度」がH23となっている場合のH23の目標値	達成値 (実績値) ※「達成年度」もしくは、「中間評価年度」がH23となっている場合のH23の実績値	目標達成度 (%) (実績値/目標値) × 100	成果 (達成値、目標達成度) の検証	自由裁量の拡大の状況	予算執行の効率化の状況	備考
1	円滑化対策エリア内の特定道路において、信号機柱の更新、適正な位置への移設を行い、交通安全と円滑化を図る。	H23	—	A (No1~4)	信号機柱の更新・移設本数	本	108	108	100.0	○事業実施箇所において、老朽化した信号機柱の更新を行うとともに、適正位置に移設することで信号機の視認性を向上させ、交通安全と円滑化が図られた。	変わらない	変わらない	
2	沖縄観光の新たな魅力の創出を図る社会基盤としての港湾・空港・都市モノレール等と一体となった道路の整備を推進し、景観を考慮した観光拠点へのアクセス、ホテル等の宿泊施設への円滑な交通の確保を図るとともに、産業・経済活動等を支援する。	H25	H23	G (No. 1)	道路の整備率	%	63	62	98.4	○一部、工事進捗の遅れ等により目標の率を下回ったが、概ね目標を達成することができた。 ○国道449号の整備より、観光拠点のある本部方面へのアクセスが改善された。	変わらない	変わらない	・最終目標値 97% (H25)
3	歩道未整備箇所への歩道設置・幅員の狭い歩道の拡幅等による歩行者と車両の分離、ガードレール等の交通安全施設の設置・修繕等の整備を推進し、歩行者の安全性の向上を図る。	H25	H23	G (No. 2, 4)	歩行空間の整備率	%	36	44	123.4	○用地買収困難箇所により、工事着手が遅れている路線があるものの、他路線の進捗により目標を達成し、歩行空間の整備が確実に進捗していると評価できる。 ○具志川沖縄線(沖縄市古謝)の歩道設置等対策工事の実施により、歩行者の安全性の向上が図られた。	変わらない	変わらない	・目標設定時の値 0% (H21) ・最終目標値 63% (H25) ・社会資本総合整備計画の「歩行者の安全歩行を確保する道路整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成していく。
4	台風や梅雨等の集中豪雨により、崩壊の恐れがある道路の危険箇所の防災対策を推進し、災害等を未然に防止する。また、耐震性の向上等、安心できる暮らしを構築する道路の整備を図る。	H25	H23	G (No. 3, 5)	道路の危険箇所の解消率	%	49	25	51.0	○当初予定していた事業費の確保ができなかったこと等により、目標値を達成できず、道路の危険箇所の防災対策が遅れている。 ○県道153号線に架かる橋梁耐震補強により地震時の安全が確保されたが、その他路線の防災対策等の進捗が遅れている。 ○引き続き、次年度の目標の達成に向けて、事業を推進していく。	変わらない	変わらない	・目標設定時の値 0% (H21) ・最終目標値 93% (H25) ・社会資本総合整備計画の「安心できる暮らしを構築する道路整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成していく。

※成果目標Noは、平成24年2月に公表した「平成23年度地域自主戦略交付金に係る成果目標」の番号と一致

※当該一覧には、評価年度が到来した成果目標(「平成23年度地域自主戦略交付金に係る成果目標」において達成予定年度又は中間評価年度が平成23年度となっているもの)のみ掲載